

# 卒業生のいま



よこた なおや  
湖西市立日枝中学校 教諭 **横田 直哉**さん

■ Profile 滋賀県東近江市出身。平成20年3月、滋賀大学教育学部学校教育教員養成課程数学教育コースを卒業。1年間の講師生活を経て教員採用試験に合格。同21年4月湖西市立甲西中学校へ赴任。1~3年を担任した後、同24年4月、同市立日枝中学校へ転任し、現在は1年生を担任。サッカー部顧問。特活主任。数学主任。子どものように無邪気な笑顔がすばらしい。2児の父。目下の趣味は読書・子どもたちと遊ぶこと。(平成26年12月取材)

## 教師として求められる資質は多岐にわたる だからこそ、志す以上は覚悟を決めて

### ■ センター試験後に決めた教員への道

小学4年生からずっとサッカーをやっていて、スパイク開発などの仕事に携わるのが夢でした。ところがセンター試験の結果が思わしくなく、第一志望は絶望的に……それならばサッカーの指導者として携われる職業に就こうと思って教員を志し、自宅から通える大学ということで滋賀大学を受験しました。

1、2回生はサッカー漬けの日々でしたね。サッカーを語りながら部活の先輩たちと飲むことも多かったです。練習メニューも4回生の先輩を中心に自分たちで知恵を出し合って作りあげていったので、とてもやりがいがありました。勉強するようになったのは3回生で幾何学のゼミに入ってからですね(笑)。単純なことから数学の定理を証明していくのですが、最初は何かから手を付けていかかわからない。でも、じっと考えているとパッと閃いて証明の糸口が見えてくる。我慢して考えることの大切さを学びました。

### ■ 採用試験に役立った滋賀大の就職支援

卒業後1年間は母校の滋賀県立八日市高校で週8時間の時間講師をしながら、ひたすら教員採用試験の勉強をしていました。

その時にとても役に立ったのが、先輩に誘われて受講した滋賀大の教員採用試験受験者のための「教職実践論」です。卒業生でも在校生と同様に受講でき、教員OBの方による模擬面接など、たいへん効果的でした。

その甲斐あって2年目には採用試験に合格することができ、湖



南市立甲西中学校に赴任。生徒指導や学校運営など、同中学校におられた滋賀大OBの先輩方にも教えていただきながら3年間、夢中で日々をおくりました。

### ■ 子どもの成長を実感できる教師の魅力

日枝中では2年間、数学の少人数加配を担当し、現在は1年生を担任しています。ほぼ毎日部活に行き、サッカー指導ができるのがとても楽しいですね。子どもたちの成長は数字で計ることはできません。でも、教師になったおかげで成長を間近でつぶさに見取れるのは、ほかの職業では味わえない魅力だと思います。卒業の時、入学時は何もできなかった生徒が大人っぽくなって巣立っていくのを見るのは感無量です。

子どもたちには常に人には人としてやるべきことがあり、人の道からはずれてはいけなさと話をしてきました。今後は生徒たちを叱る時、なぜやっちはいけないのかという根本的な部分について理解させられるような教員になりたいです。

多様化する現代社会において教師に求められる能力は多岐にわたっており、教師を志すならある程度覚悟を持って臨む必要があると思います。

むろもと かな  
株式会社カネカ **室本 加奈**さん



■ Profile 大阪市出身。平成20年3月、滋賀大学経済学部企業経営学科を卒業。同年4月、関西に拠点を置く銀行に入社。個人融資及び法人営業担当の融資事務に携わる。同26年2月、同社を退職。同年5月、紹介予定派遣で株式会社カネカに入社。11月から正式採用となり、振込入金管理・現金出納・各伝票のチェック・法人カード伝票管理・売掛金回収管理を担当。趣味は旅行と読書。常に前向きな姿勢は人一倍。(平成26年12月取材)

## 銀行からメーカーの経理職にキャリア転換 いろいろな人との出会いがチャンスをもたらす

### ■ 企業経営を支える力を身につけたい

昨年2月に6年間勤務した銀行を退職。現在は「株式会社カネカ」に勤務し、経理を担当しています。

私が勤務していた銀行は「出る杭は伸ばす」といった自由な社風で、ベンチャー企業の支援にも積極的でした。私は個人融資や法人対象の融資事務などに携わっていましたが、資金繰りがうまくいかずに融資の返済プラン変更を余儀なくされるケースなどを目の当たりにして、手助けできない自分の無力さを感じました。そこで、日本経済を支える企業の力になるには、銀行だけでなく被融資者である企業の実態を知らなければ……と思ったのです。



カネカには経理の経験がなくても採用していただけたことや、カネカの製品が身近に使われていることを実感しながら働けることが大きな魅力です。今は経理業務に携わりながら、メーカーの活動サイクルを学んでいます。将来は融資に関わる仕事ができるようになると嬉しいです。

### ■ 伝統があり就職にも強い滋賀大学

企業経営に興味をもったのは高校時代。文化祭で喫茶店をやった時、会計を担当したことがきっかけでした。そこで進路を決めるに際し、「伝統があつて就職にも強いから」という周囲の勧めもあって滋賀大学を受験。4年間、大阪から2時間かけて彦根まで通いました。

先輩マネージャーに憧れて、男子バスケットボール部のマ

ネージャーとなり、リーグ昇格に向け部員が一丸となって頑張ったことが思い出です。アットホームな大学で、キャンパスのどこにいても友人に会えるので、学校に行くのがとても楽しかったですね。

澤木聖子先生のゼミで勉強させていただきましたが、とても学生の自主性を大切にされる先生で、常に周りを見ながら自分の立場でできることを探して動くことを学びました。

ほかの大学との経営学合同合宿では、エコツーリズムをテーマにしました。彦根は歴史や文化資源が多いにもかかわらず宿泊施設が少ないため、滞在型の観光を推進していこうと提案しました。

### ■ 果報は自ら動いてつかめ

就職活動はいろいろな企業に会えるチャンスなので、最初から自分の行き先はここだと決めつけず、できるだけ多くの採用担当者に会って話を聞いてほしいですね。滋賀大は先生と学生、先輩、後輩の絆がとても強い大学なので、自分から希望すればいろいろな人が力になってくれるのではないかと思います。

